

多賀城高等学校

校訓 さとく ゆたかに たくましく



1 基本データ

創立：昭和51年4月創立
課程・学科：全日制課程・普通科，災害科学科
生徒数：811名
所在地：〒985-0831
宮城県多賀城市笠神2-17-1
TEL：022-366-1225
FAX：022-366-1226

ホームページアドレス：
http://tagajo-hs.myswan.ne.jp
電子メールアドレス：
chief@tagajo-hs.myswan.ne.jp
主な交通機関
JR仙石線 下馬駅下車 徒歩20分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

誰にでも未来を創る能力がある

本校では「さとく・ゆたかに・たくましく」の校訓のもと、生徒と教員が「誰にでも未来を創る能力(ちから)がある」ことを共に確信し、これからの厳しい社会を生き抜いていくための土台となる「最後まで諦めずに頑張る力」の育成を目指して、進路目標達成を実現できるよう全力でサポートします。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

仙台市の北東部に隣接する史跡の街、多賀城市に昭和51年に創設された全日制普通高校で、1～3学年7クラス(280名)編制、男女比ほぼ1：1の共学校です。

JR仙石線下馬駅より徒歩20分の距離にあり、閑静で緑豊かな環境に立地しています。

施設は、4階建て校舎、体育館、柔剣道場、約300人収容可能な大講義等(iRis Hall)、部室棟や部活動の合宿、学習合宿などに利用できるセミナーハウスがあります。

また、野球、サッカー、ラグビー、ソフトボール、陸上などが同時に活動可能な大きなグラウンド、全7面のテニスコートを備え、恵まれた環境でのびのび活動ができます。

(2) 設置学科等

(過去3年間の学科コース別・前後期選抜別の出願者数・合格者数)

<前期選抜>

		H30	H29	H28
普通科	出願者数	225	244	249
	合格者数	72	72	72
災害科学科	出願者数	24	40	33
	合格者数	17	16	16

<後期選抜>

		H30	H29	H28
普通科	出願者数	229	214	239
	合格者数	168	168	169
災害科学科	出願者数	10	29	22
	合格者数	8	24	20

(3) 教育方針

21世紀を担う人物の育成という観点に立って、高い知性、豊かな情操、すぐれた徳性、強い意志と強健な身体をもち、広い視野をもって社会、国家に貢献する人物を育成することを方針としています。

次の3つの教育目標を定めています。

- 1 知性の伸長(さとく)
自己のもつ可能性を見出して、その伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追求し、常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。
- 2 人格の尊重(ゆたかに)
正しく自己を愛し、他も愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。
- 3 心身の健康(たくましく)
心身の健康こそはすべての生活の根源である。清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志力と強靱な体力を身に付けるよう努める。

(4) 教育課程の特徴

平成25年度より、新学習指導要領を踏まえ月1回土曜日に授業を行い、週当たりの教科単位時間を31時間としています。

<普通科>

1年生では、基礎科目(国語 数学 英語)に重点をおき、標準単位より1単位増で学習します。2年生では、文系・理系に分け進路に合わせて地理歴史と理科での選択を設定しています。3年生では、大学進学を基本とした文理2類型及び進路や興味・関心にあわせて学校設定科目を設置しています。

<災害科学科>

自然災害を科学的にとらえる知識や技能を身に付けることを目的とし、被災後の復興を担う人材を育てることを目的として、平成28年4月に開設された新しい専門学科です。

普通科における教科・科目をベースとして科学的な学校設定教科・科目を多数組み込んだカリキュラムとなっています。また、学外の研究機関(独)防災科学研究所、海洋研究開発機構、JAXA等)や大学(東北大学、東北学院大学等)と連携して行われる巡検と呼ばれるフィールドワークや県外の研究施設への宿泊研修など、最先端の研究に関わる研究者との交流を持てることも特徴となっています。

(5) 行事・生徒会活動・部活動

進路関係行事として、長期休業中の課外講習や3学年の平常講習・学習合宿等の学力向上に向けた取り組みと、大学による出前授業、社会人講話やディベートがあり進路実現を目指しています。

生徒会活動は大変活発であり、特に中心となるのが、本校の3大イベントの「球技大会」、「多高祭」、「体育祭」です。これらの行事は、有志生徒による実行委員会が企画・運営を行います。

部活動も、「個性追求の場」として、生徒主体の意欲あふれる熱心な活動が行われており、全国大会や東北大会に出場している部や地域に貢献している部などがあり、多くの部が活発に活動しています。

<運動部>ラグビー、サッカー、ソフトテニス、野球、陸上、ソフトボール、山岳、バレーボール、卓球、剣道、バスケットボール、テニス、水泳、柔道、バドミントン、弓道
<文化部> 写真、科学、合唱、軽音楽、吹奏楽、美術、茶華道、語学研究、家庭、放送、情報処理、ボランティア同好会

(6) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H29	H28	H27
国立大学	44	39	27
国立短大	0	1	0
私立大学	172	161	175
私立短大	11	13	13
専各学校	24	29	38
就職	5	9	8
その他	21	21	18
卒業生計	277	273	279

主な進路先(平成30年3月卒業生)、

()内は人数 (1)は省略。

<国立大学>

東北大、宮教大(3)、山形大(7)、福島大(3) 岩手大、弘前大(4)、茨城大、埼玉大 北教大、宮城大(14)、青森県立保健大(3) 会津大、前橋工科大、首都大学東京 他

<私立大学>

東北学院大(58)、東北福祉大(40) 東北医科薬科大(4)、東北工大(8) 宮城学院女子大(13)、尚絅学院大(6) 中央大、学習院大、日本大(3) 他

<専修各種学校>

石巻赤十字看護専門
仙台医療センター付属看護(4)
仙台徳州会看護 他

<就職>

宮城県職員(2)、仙台市職員(2) 他

3 入試情報

(1) 募集定員

普通科 男女240名
災害科学科 男女 40名

(2) 前期選抜について

イ 学科別の募集割合等

普通科 定員の30%以内(72名以内)
災害科学科 定員の40%以内(16名以内)

ロ 出願できる条件

多賀城高校は「一人一人が生き生きと自分を伸ばせる学校」をめざし、設立以来、地域社会の期待に応えてきました。そして、多賀城高生は「自身を大きく成長させるための努力を惜しまない」高校生活を送ってきました。そこで、次の1~3の全てを満たし、そのことについて自己アピールできることを「出願できる条件」とします。

<普通科>

- 1 学習に真剣に取り組むことはもちろん、部活動、生徒会活動などにも意欲的に取り組み、目標を達成させたいと考えている生徒
- 2 中学校での学習への取り組みが良好(家庭学習や課題提出がきちんと出来ている)で、その成果が優秀である生徒
- 3 基本的な生活習慣(挨拶ができる、遅刻をしない、正しい制服の着こなしが出来、言葉遣いがきちんとできる、ルールを守れるなど)が身に付いている生徒

<災害科学科>

- 1 災害に関する科学的な学習や復興の取り組みに興味関心があり、課題研究や校外研修活動に積極的に関わりたいと考えている生徒
- 2 中学校での学習への取り組みが良好かつ成果が優秀であり、進学を基本とした進路目標を明確に持っている生徒
- 3 基本的な生活習慣(挨拶ができる、遅刻をしない、正しい制服の着こなしが出来、言葉遣いがきちんとできる、ルールを守れるなど)が身に付いており、校外の人々とのコミュニケーション能力に優れている生徒

ハ 学力検査

各学科とも 国語、数学、英語 各50点

ニ 学校独自検査

各学科とも 小論文(配点75点)
資料読取型 60分

図や表を含む資料から読み取れる事柄についての基礎的知識を問うと同時に、資料から考察されることについて論述展開させる。特に数学的な処理や理科、社会に関する事柄を含むものとする。

(3) 後期選抜について

イ 学科別募集人数

普通科 168名(予定)
災害科学科 24名(予定)

ロ 面接・実技の有無

各学科とも なし

ハ 傾斜配点の有無

各学科とも なし

ニ 調査書点と学力検査点の比重

各学科とも 4:6(学力点を重視します)

ホ 学科の第2志望

該当あり

普通科...なし

災害科学科...普通科を第2志望とすることができる

(4) 平成30年度転編入学試験について

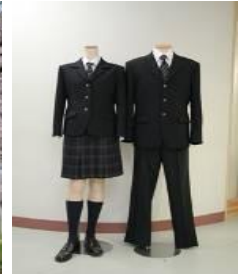
(7月以降分)

日程	対象学年	試験科目等
平成30年9月26日	全学年	英・国・数・面接
平成30年12月19日	全学年	英・国・数・面接
平成31年3月20日	新2・3年	英・国・数・面接

4 写真で見る学校生活



<校舎>



<制服>



<生徒総会>



<災害科学科浦戸巡検>



<球技大会>



<学習合宿>



<吹奏楽部定期演奏会>



<ボランティア活動>

我が校のPRポイント

本校の生徒は『文武両立』を合言葉に、互いに人格を認め合い、しっかりと挨拶を基本として、明るくのびのびと学校生活を送っています。在学生へのアンケートでも本校の魅力は『学校の雰囲気が良いところ』という意見が多く寄せられます。『文武両立』を目指し、積極的に様々なことに取り組み、自ら人間的成長を求めていこうとする人は、ぜひ本校に入学してください。

平成28年4月には災害科学科が新設され、大学や研究機関と連携しながら課外活動や授業を通して学んでいます。また、ユネスコスクールに加盟するほか、様々なボランティア活動にも参加しています。平成30年度から5年間、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受け、理数教育の更なる充実を目指しています。